

# 2022年12月期第1四半期 決算説明会資料

2022/5/12



## 目次

I	2022年12月期第1四半期決算概要	P3-14
	参考資料	P15-18

# I

2022年12月期第1四半期

## 決算概要

- 国際通貨基金（IMF）は、2022年の世界の経済成長率予測を1月の4.4%から3.6%へ下方修正、2023年は、0.2%引き下げ3.6%へ下方修正。世界経済がコロナパンデミックから完全回復しない中、ロシアによるウクライナ侵攻とそれを受けた対ロシア経済制裁による資源価格の高騰、インフレ圧力の一段と強まりと供給網の大きな混乱が下押し要因
- 地政学リスクの顕在化により、世界的に原材料・エネルギーコストが高騰する中、当第1四半期業績は、前年同期比で、売上高28.8%、営業利益94.7%、経常利益110.2%及び四半期純利益105.5%と大幅な増収増益
- 第2四半期偏重となる上半期業績予想に対して、売上高46.7%、営業利益46.7%、経常利益52.5%及び四半期純利益40.4%とおおむね予定通りの進捗
- 黒鉛電極事業は、堅調な鉄鋼生産とCO2排出量削減に向けて計画されている新規電炉の立ち上げを背景として、米国を中心に電極需要は旺盛。原油・石炭高で原料コストが上昇する中、米中貿易摩擦による世界経済の低迷とコロナ禍による需要減から低迷が続いていた売価は反転
- カーボンブラック事業は、昨年は2月に米国南部を襲った大寒波とそれに伴う大規模停電の影響を一部受けるも、足もとでは世界的な自動車タイヤ生産の需要急回復を受けフル稼働
- ファインカーボン事業と工業炉及び関連製品事業は、EV、5G・IoT関連市場の成長拡大を背景として、引き続き需要は旺盛。韓国子会社の半導体製造装置向け部材が全体をけん引
- スメルティング&ライニング事業（精錬ライニング事業を4月1日付で改称）は、ウクライナ危機による影響を一部で受けるも、グローバルでのアルミ生産やアルミ電解炉の改修意欲は堅調。また炭素電極は、半導体用ポリシリコンやアルミ合金用途向けを中心に引き続き需要が旺盛

- 黒鉛電極の市況反転とその他の事業の堅調さ継続で前年同期比で増収増益
- 売上高 695億円 営業利益 79億円 ROS 11.4%（前年同期 ROS 7.6%より大きく改善）

(百万円)

	2021年1-3月	2022年1-3月	増減額	増減率
売上高	53,968	69,512	+15,544	+28.8%
営業利益	4,077	7,938	+3,861	+94.7%
経常利益	3,999	8,406	+4,407	+110.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,968	4,044	+2,076	+105.5%

連結対象会社（2022年3月末現在）

- 連結子会社 31社
- 持分法適用会社 1社

1-3月平均為替レート

- 2021年 USD1= ¥105.90  
EUR1= ¥127.69
- 2022年 USD1= ¥116.20  
EUR1= ¥130.39

# セグメント別売上高・営業利益・EBITDA

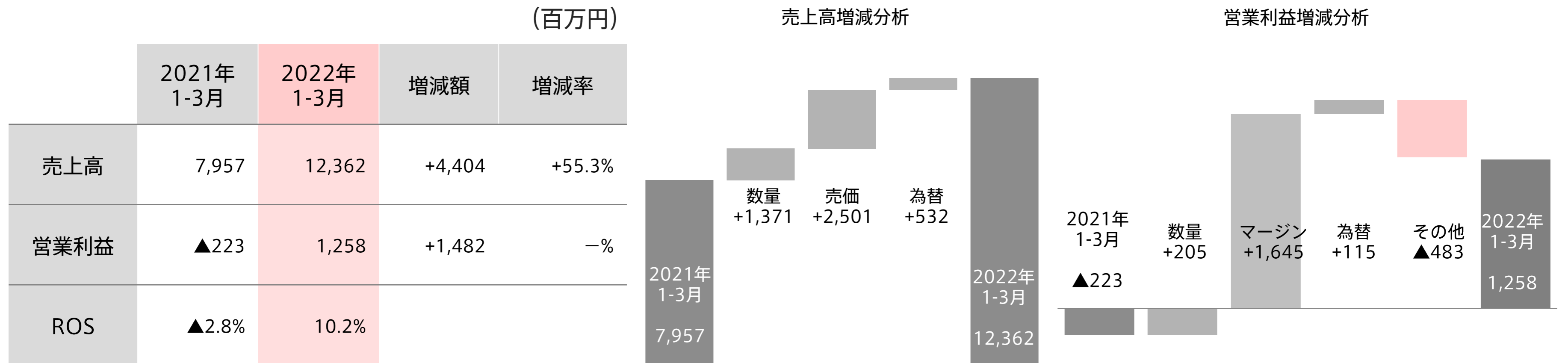
6

## ■ 主要5セグメントで増収増益

	売上高			営業利益			EBITDA		
	2021年1-3月	2022年1-3月	増減額	2021年1-3月	2022年1-3月	増減額	2021年1-3月	2022年1-3月	増減額
黒鉛電極	7,957	12,362	4,404	▲223	1,258	1,482	770	2,535	+1,765
カーボンブラック	21,595	29,430	7,835	1,807	3,049	1,242	3,237	4,616	+1,379
ファインカーボン	8,826	10,935	2,108	2,146	2,912	766	3,476	4,382	+906
スメルティング & ライニング(SL)	10,766	11,605	838	42	67	24	2,989	3,171	+182
工業炉関連	1,982	2,523	540	521	763	241	582	820	+238
その他	摩擦材	2,134	2,290	156	—	—	—	—	—
	負極材	670	330	▲340	—	—	—	—	—
	その他	34	34	0	—	—	—	—	—
計	2,839	2,655	▲183	138	201	63	264	312	+48
調整	—	—	—	▲355	▲314	41	▲215	▲185	+30
合計	53,968	69,512	15,544	4,077	7,938	3,861	11,106	15,653	+4,547
売上高比率	—	—	—	7.6%	11.4%	+3.8%	20.6%	22.5%	+1.9%

※EBITDA =営業利益+減価償却費+のれん償却費

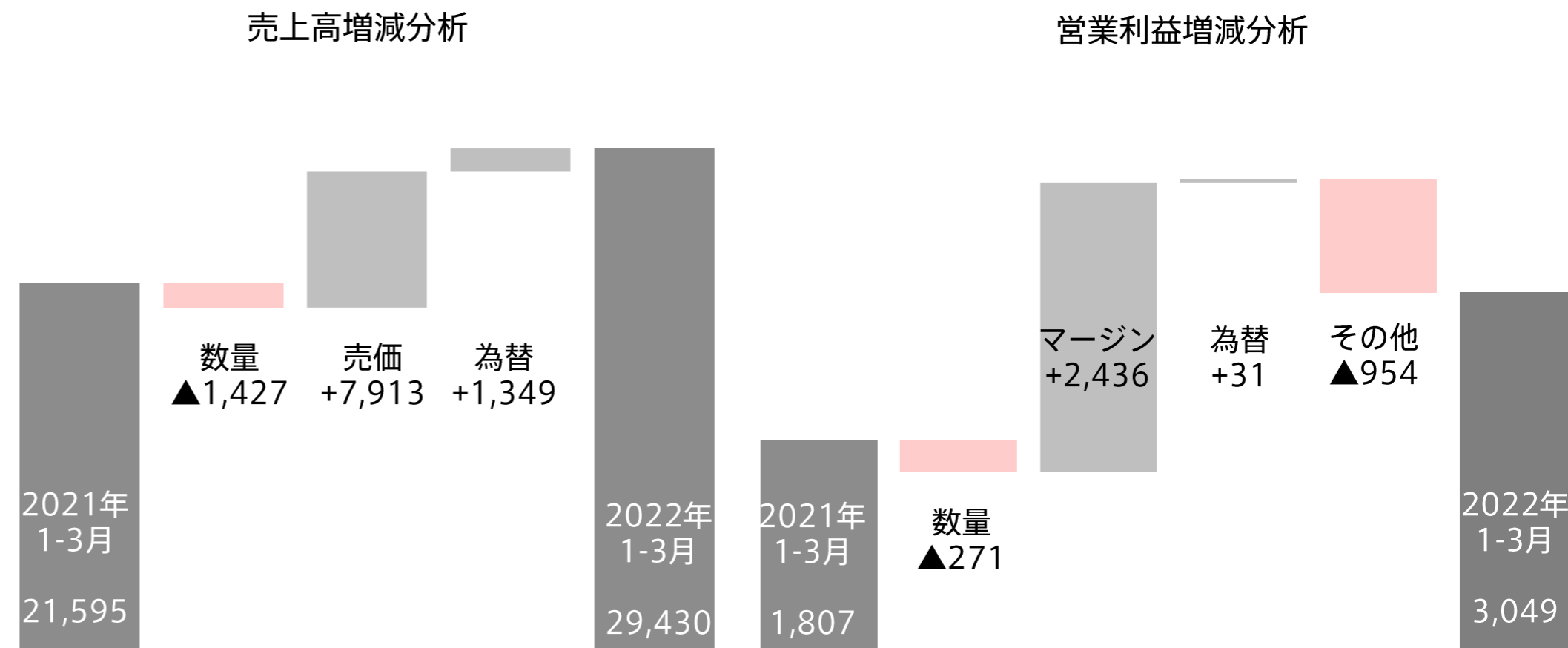
- 黒鉛電極の市中外在庫の消化が進むなか鉄鋼景気が回復。電極市況も昨年を底に反転。欧米を中心に高品質電極の引き合いが強くなり当社欧米拠点はフル稼働。今後の売価引き上げを目指す



- 中国拠点の東海炭素（天津）有限公司を事業売却したことにより全体の販売数量は前年同期比で減少したものの、交換用タイヤ需要が欧米を中心に回復し売価引き上げにつながったため、増収増益となる
- カーボンブラック需給は世界的にタイトとなっており、安定供給のための設備更新投資及び環境設備投資対応を継続して実施
- 原料油も同様にひっ迫が予想され、安定調達が今後の重要課題

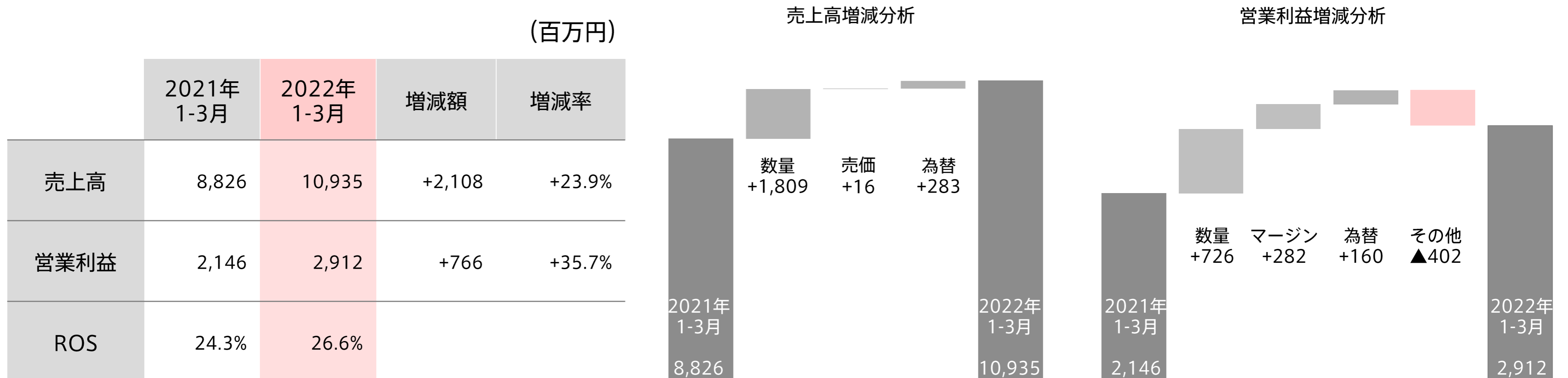
(百万円)

	2021年 1-3月	2022年 1-3月	増減額	増減率
売上高	21,595	29,430	+7,835	+36.3%
営業利益	1,807	3,049	+1,242	+68.8%
ROS	8.4%	10.4%		





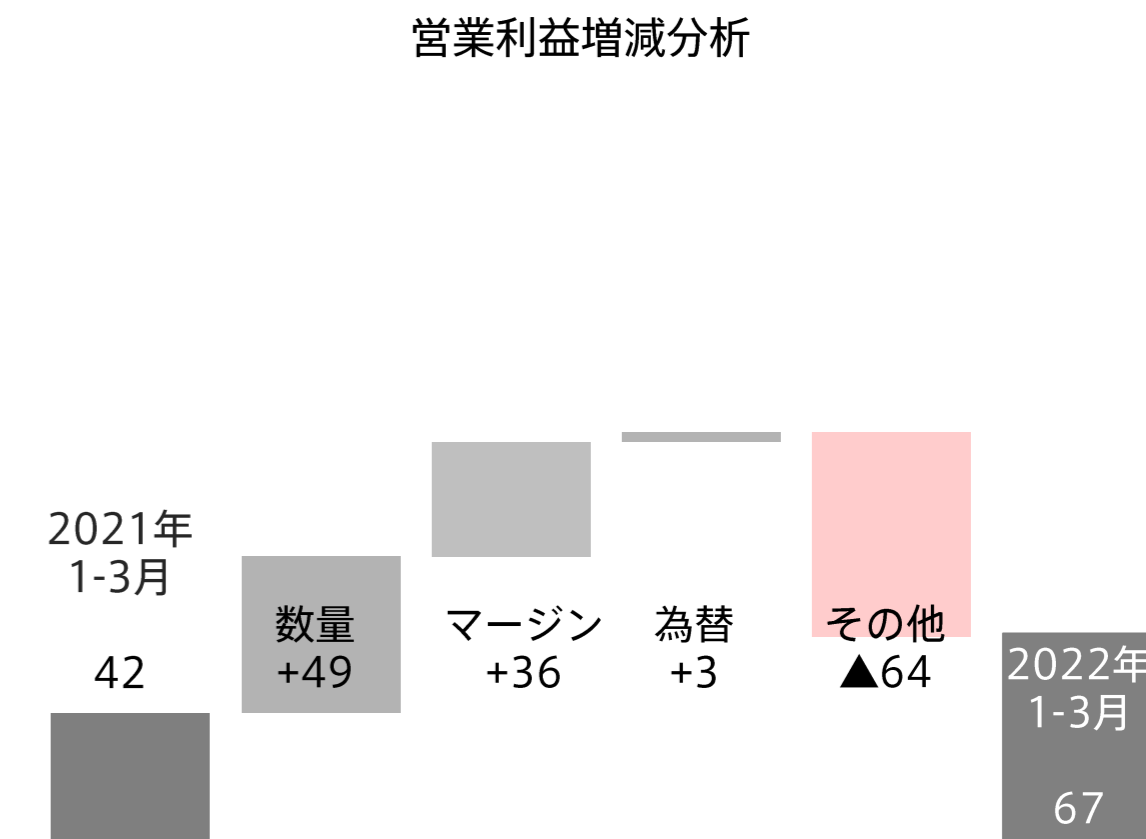
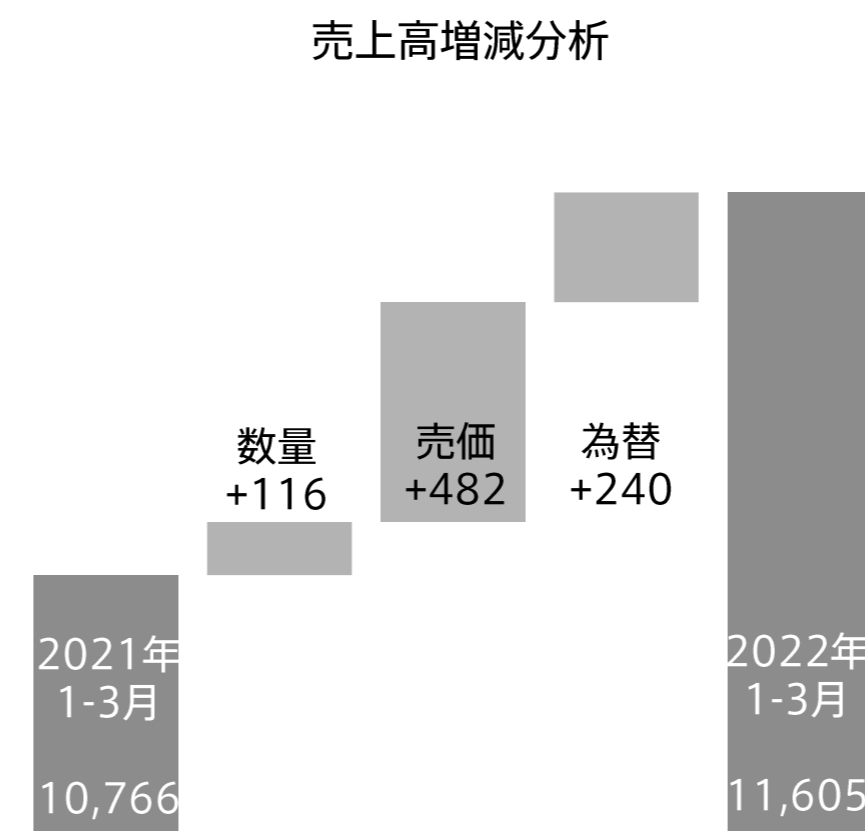
- 半導体、太陽光発電向け市場が堅調に推移。一般産業向けも回復に転ずる
- 半導体製造のエッチング工程で使用されるソリッドSiC（シリコンカーバイド）製フォーカスリングが全体の成長をけん引。市場の急速な拡大に伴い成長投資を加速する



- 「スメルティング&ライニング事業」へセグメント名改称（略称：SL事業）
- ウクライナ危機の影響は流動的なるも総じてカソード改修需要は堅調に推移

(百万円)

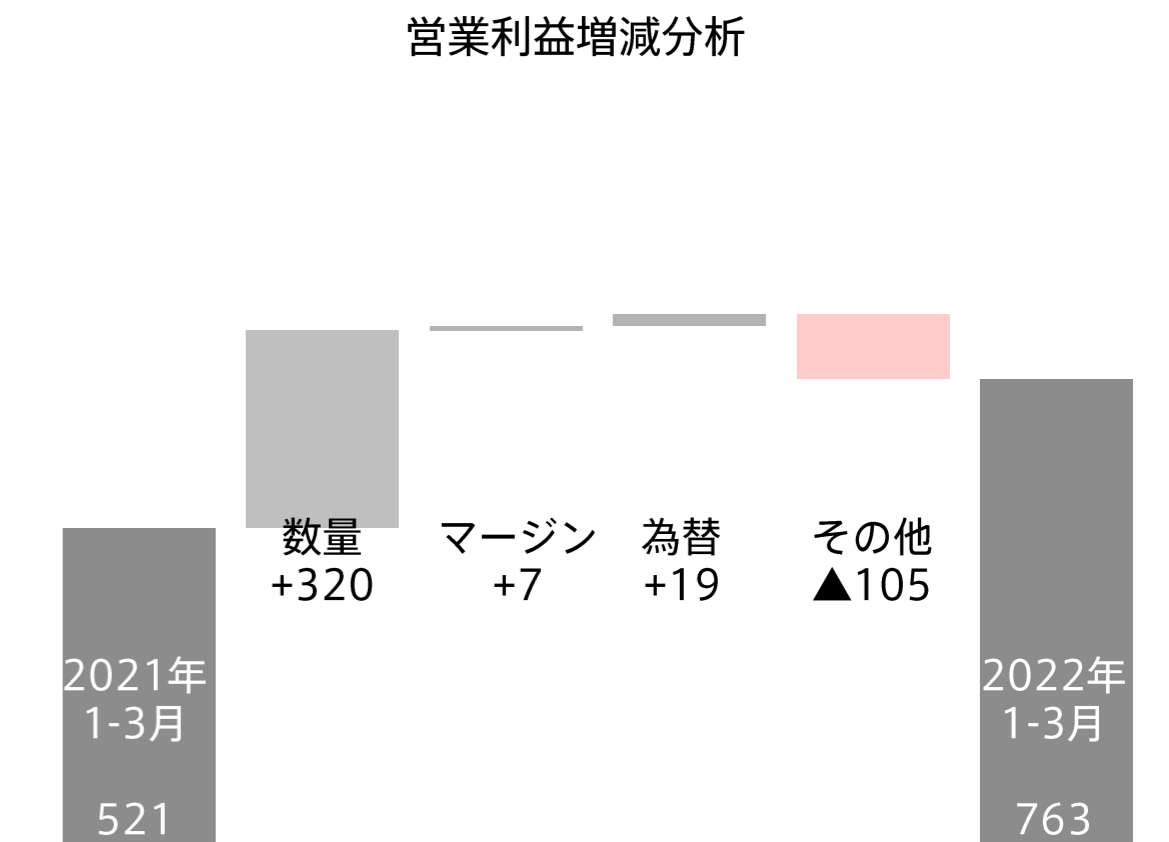
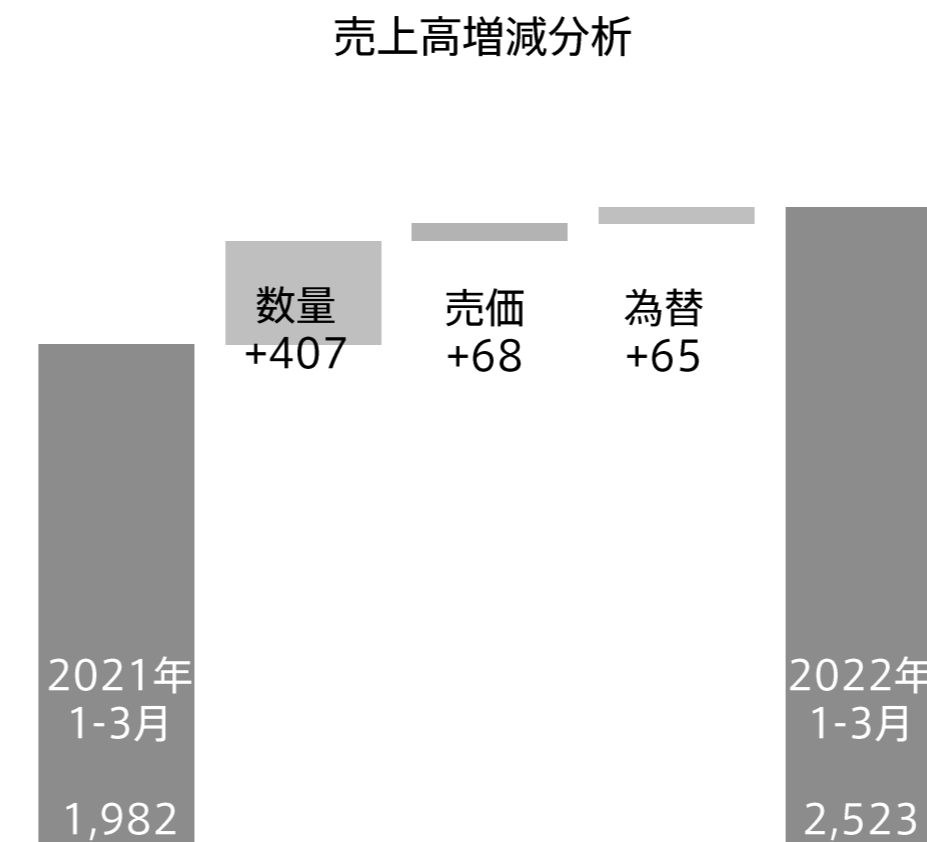
	2021年 1-3月	2022年 1-3月	増減額	増減率
売上高	10,766	11,605	+838	+7.8%
営業利益	42	67	+24	+57.4%
ROS	0.4%	0.6%		



- 電子部品業界向け、エネルギー関連業界向けの需要が堅調であり、工業炉と発熱体ともに好調

(百万円)

	2021年 1-3月	2022年 1-3月	増減額	増減率
売上高	1,982	2,523	+540	+27.3%
営業利益	521	763	+241	+46.3%
ROS	26.3%	30.2%		



## 主なキャッシュフロー項目

(百万円)

	2021年1-3月	2022年1-3月	概要
営業活動によるキャッシュフロー	3,935	4,324	
税金等調整前当期純利益	4,013	8,335	
減価償却費	5,318	5,951	
のれん償却額	1,710	1,762	
売上債権増減	▲342	3,071	} 運転資本 ▲67億76百万円 (前年同期 ▲24億76百万円)
棚卸資産増減	▲2,367	▲8,985	
仕入債務増減	233	▲862	
法人税等の支払額その他	▲4,630	▲4,948	
投資活動によるキャッシュフロー	▲9,654	▲8,127	
有形固定資産取得	▲7,476	▲7,673	
財務活動によるキャッシュフロー	▲4,833	▲5,334	
借入金増減(CP含む)	▲1,434	▲1,894	
配当金の支払	▲3,197	▲3,197	
現金及び現金同等物期末残高	49,058	57,507	

※運転資本=売上債権+棚卸資産-仕入債務

## 主な貸借対照表項目

(百万円)

	2021年12月末	2022年3月末	概要
資産合計	512,503	526,630	
流動資産	215,149	220,677	
現預金	78,858	72,827	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現預金月商比率 3.1倍 (前期末3.7倍)</li> <li>・棚卸資産 前期末比+106億16百万円</li> <li>・有形固定資産 前期末比+61億67百万円</li> <li>・無形固定資産 前期末比+21億55百万円</li> </ul>
受取手形・売掛金	56,668	54,500	
棚卸資産	72,479	83,095	
固定資産	297,353	305,952	
有形固定資産	144,165	150,332	
無形固定資産	123,349	125,505	
投資その他の資産	29,838	30,114	
負債合計	255,932	254,076	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット有利子負債 936億93百万円 (前期末比+43億円)</li> <li>・直接調達比率 69.1%(前期末68.4%)、長期比率 51.3%(前期末55.6%)</li> <li>・短期融資枠650億円 (前期末比+30億円) : 借入実行額40億円 (前期比末+20億円)</li> <li>・債権流動化・CP発行限度枠680億円 (前期末と同額) : 借入実行500億円 (前期末と同額)</li> </ul>
流動負債	130,418	134,018	
固定負債	125,514	120,058	
純資産合計	256,570	272,553	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己資本比率46.1%(前期末44.7%)</li> <li>・調整後自己資本比率※ 52.8%(前期末51.6%)</li> <li>・ネットD/Eレシオ 0.4倍 (前期末0.4倍)</li> <li>・調整後ネットD/Eレシオ 0.2倍 (前期末0.2倍)</li> </ul>
株主資本	206,269	207,115	
その他包括利益累計額	22,940	35,743	
非支配株主持分	27,360	29,694	
負債純資産合計	512,503	526,630	

※調整後自己資本比率、調整後ネットD/Eレシオとは、ハイブリッドファイナンスでの格付機関からの資本性認定を考慮した自己資本比率、ネットD/Eレシオです



2030年長期ビジョン「先端素材とソリューションで持続可能な社会の実現に貢献する」に沿った事業展開と組織編成をテーマとして、2022年2月、サステナビリティ、カーボンニュートラルへの取り組み及び向こう3年間の成長プランを開示

## 黒鉛電極の採算改善

市中在庫整理と需要回復により市況反転。売価是正に取り組み中。今後は原材料価格等の高騰が予想されるため、引き続き適正利潤確保に取り組む

## CB事業の採算改善と安定化

設備更新、環境投資等により安定供給能力確保。原料、投資コスト増分を売価へ反映

## FC事業への成長投資

黒鉛材生産能力増強計画は予定通り進捗。年内出荷分より寄与。韓国のCVD能力増強工事も予定通り進捗

## 事業の選択と集中

2022年2月、カーボンブラックの中国拠点、東海炭素（天津）有限公司の譲渡完了。引き続き事業ポートフォリオ最適化に取り組む

## カーボンニュートラル

司令塔としてカーボンニュートラル推進委員会を新設。実現に向け、事業部横断的な取り組みとして、各種分科会・調査会での研究も開始

## サステナビリティ推進

2022年1月、サステナビリティに関する重要事項を審議するサステナビリティ推進委員会を新設し活動を開始

## 參考資料

# 主要子会社売上高

16

(百万円)

子会社	2021年 1-3月	2022年 1-3月	増減額	所在地・事業	備考
Tokai Erftcarbon	2,357	4,593	+2,236	ドイツ 黒鉛電極	
Tokai Carbon GE	3,461	5,128	+1,667	アメリカ 黒鉛電極	・2017年11月より連結寄与
Thai Tokai Carbon Product	4,114	6,248	+2,133	タイ カーボンブラック	
Tokai Carbon CB	8,898	13,404	+4,505	アメリカ カーボンブラック	・2018年9月より連結寄与
Cancarb	1,996	2,146	+150	カナダ カーボンブラック	
Tokai Carbon Korea	6,001	7,508	+1,507	韓国 ファインカーボン	・2018年6月より連結寄与
Tokai COBEX	8,189	11,505	+3,316	ドイツ SL	・2019年8月より連結寄与



(百万円)	2018	2019	2020	2021	2022 (予想)
売上高	231,302	262,028	201,542	258,874	305,000
営業利益	73,065	54,344	7,858	24,647	35,000
ROS (%)	31.6%	20.7%	3.9%	9.5%	11.5%
EBITDA	85,374	77,053	35,262	54,518	66,000
EBITDA マージン (%)	36.9%	29.4%	17.5%	21.1%	21.6%
親会社株主に帰属する純利益	73,393	31,994	1,019	16,105	20,000
ROE (%)	46.8%	16.0%	0.5%	7.5%	8.4%
ROIC (%)	29.6%	13.1%	1.6%	4.8%	6.5%
設備投資額	11,794	24,341	28,873	30,347	38,000
減価償却費	10,390	18,503	20,890	22,900	24,000
研究開発費	1,883	2,460	2,682	2,823	3,000
有利子負債	49,710	148,030	158,643	168,249	-
ネットD/Eレシオ	0.0	0.5	0.5	0.4	-
調整後ネットD/Eレシオ	0.0	0.3	0.2	0.2	-
従業員数 (人)	2,944	3,714	4,178	4,289	-
為替レート (JPY/USD)	110.43	109.05	106.82	109.80	110

※EBITDA =営業利益+減価償却費+のれん償却費, ROIC=税引き後営業利益÷投下資本 (運転資本+固定資産)

# セグメント別業績推移 (四半期ベース)

18

(百万円)

	2021					2022			
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2f	下期f	通期
売上高	53,968	63,412	67,714	73,779	258,874	69,512	79,488	156,000	305,000
黒鉛電極	7,957	10,028	10,412	12,220	40,619	12,362	17,638	35,000	65,000
カーボンブラック	21,595	24,669	25,997	27,228	99,491	29,430	27,570	57,000	114,000
ファインカーボン	8,826	9,851	9,873	10,574	39,125	10,935	9,065	21,000	41,000
スメルティング& ライニング (SL)	10,766	11,126	13,326	14,477	49,696	11,605	14,395	27,000	53,000
工業炉関連	1,982	4,556	4,888	6,592	18,019	2,523	7,477	10,000	20,000
その他									
摩擦材	2,134	2,269	2,186	2,289	8,880	2,290	2,710	4,000	9,000
負極材	670	876	997	362	2,907	330	670	2,000	3,000
その他	34	33	33	33	135	34	▲34	0	0
その他計	2,839	3,180	3,217	2,686	11,922	2,655	3,345	6,000	12,000
営業利益	4,077	6,868	6,724	6,977	24,647	7,938	9,062	18,000	35,000
黒鉛電極	▲223	346	▲311	▲211	▲400	1,258	1,742	6,000	9,000
カーボンブラック	1,807	2,546	2,331	2,098	8,783	3,049	2,951	5,000	11,000
ファインカーボン	2,146	2,411	2,458	2,594	9,611	2,912	2,088	5,000	10,000
スメルティング& ライニング (SL)	42	259	917	705	1,925	67	▲67	0	0
工業炉関連	521	1,431	1,406	2,036	5,396	763	2,237	3,000	6,000
その他	138	210	255	151	754	201	799	0	1,000
調整	▲355	▲337	▲334	▲396	▲1,423	▲314	▲686	▲1,000	▲2,000

- 本資料に掲載されている将来見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の仮定を前提としています。
- 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先  
総務部 TC-IR@tokaicarbon.co.jp



Building a Future of Technology and Trust  
**TOKAI CARBON CO., LTD.**